



本日、卒業証書授与式

総合学科11期141名

つながろう三高!! 卒業しても



卒業写真のあの人は

Goal! & スタート!

私たちに続け! 未来の三高生

平成28年度の全校生徒の出身中学は23校でした!

紙面を刷新した「蒼雲」第83号1面
(平成26年4月9日発行)



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより
第114号

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

つながろう三高
つながろう雲南

如己愛人

『小学』年生と雲南のチャレンジ
学習雑誌の草分けとも言える小学館の『小学六年生』『小学五年生』の創刊が1922年(大正11年)、旧制三刀屋中学校が開校する2年前のことだ。2力年の高等小学校を経て入学した1期生も目にしたかもしれない。百年近くが経ってライバル誌や新メディアが続々登場し、さらには少子化を背景に学年別学習雑誌は次々と休刊。昨年末の最後の『二年生』発行により、残るは『一年生』のみとなった。小学館の看板雑誌が風前の灯となったところが先月、『小学』年生が発売されたと聞いて驚いた。デジタルの『』は数字の1〜6もすべて表現でき、『何年生でも大歓迎』というコンセプトでの編集発行らしい。全ての休刊も選択肢にあつたかもしれないが、あえて『小学』年生でチャレンジした小学館の心意気を感じた。現在は多種多様な書籍を発行し、小学生向け学習雑誌に大きく依存する収益体質ではないだろうが、本家としての社会的使命感・責任感が驚きの『小学』年生を生んだと言えよう。出版業界に限らず、環境変化やニーズの多様化に因應する姿勢なくして生き残りは難しい。嘆くより、何とかしようとする姿勢と行動が肝要だ。チェンジを説いたオバマ前大統領は最後のスピーチで、「普通の人たちが深く関わり、一致して要求することで物事はチェンジすることを学んだ」と語った。慣れ親しんだことからのチェンジにはタフネスさが求められるが、ここ雲南の「子ども×若者×大人」がつながるチャレンジは、オバマ氏のスピーチのように「普通の人たち」がつながって地域の力となっている。設立から10年が経った地域自主組織もその足腰を鍛え、今や雲南の住民自治は、トランプ氏にも視察してもらいたい「民主主義の学校」のお手本だ。オバマ氏が遺そうとしたチェンジ、つながる雲南のチャレンジに一層注目だ。

皆さんにとって、ここ三刀屋高校での3年間の高校生活はどのようなものだったでしょうか。アンジェラ・アキさんは『手紙』挿啓十五の君へ」という歌の中で、「人生のすべてに意味があるから、恐れずにあなたの夢を育てて」と歌っています。3年前に本校に入学し、今まさに今日が最後の一日となった高校生活は、皆さんにとってどんな意味があり、皆さんはこの3年間どんな夢を育ててきましたか。あなたの「雲南夢発見見」聞かせてください。
(差出人/3年前の編集長)

平成29年3月の卒業式当日のあなたへ
覚えていますか?
平成26年4月9日、入学式当日発行の「蒼雲」に掲載した3年後のあなたへの手紙です
皆さんにとって、ここ三刀屋高校での3年間の高校生活はどのようなものだったでしょうか。アンジェラ・アキさんは『手紙』挿啓十五の君へ」という歌の中で、「人生のすべてに意味があるから、恐れずにあなたの夢を育てて」と歌っています。3年前に本校に入学し、今まさに今日が最後の一日となった高校生活は、皆さんにとってどんな意味があり、皆さんはこの3年間どんな夢を育ててきましたか。あなたの「雲南夢発見見」聞かせてください。
(編集長記)

高校第69回



校歌

作詞/土岐 善磨
作曲/石井 敏

波清く三刀屋川流るところ
雲ひろし山また山
かがやくみどりよ
歴史をかえりみ新たにいま
おのおの選り進みゆくとき
正しき道に希望あり
われらの三高ここにありと
ひとしくともに誇るべし

谷深く青春のよるこびいだき
意気高しはげましあい
求むる真理よ
さくらの花かげ稲田の前
この友情のかわることなく
社会に立たん健やかに
われらの三高ここにありと
ひとしくともに誇るべし

(昭和34年10月2日制定)

充実の三高生活を支えた高い出席率

99.1%

3年次1ヶ年の出席率が99.1%。この高い出席率が充実した高校生活を支えました。1ヶ年皆勤者が3年生の半数近い66名、内3ヶ年皆勤者が25名を数え、昨日の同窓会入会式を前に表彰されました。他の主な表彰分は以下のとおり。

各種表彰

- 総合学科優秀者表彰
 - 岡田 莉子
 - 高体連表彰
 - 青木真衣子
 - (女子ソフトボール)
 - 高野連表彰
 - 田中 雄真 (野球)
 - 吹奏楽連盟表彰
 - 小野朱里奈 (吹奏楽)
 - 1ヶ年皆勤賞 41名
 - 3ヶ年皆勤賞 25名

卒業前の特別講座

- 2月の出校日に開催
- 租税教室(大東税務署)
- 年金セミナー(日本年金機構)
- 消費者講座(島根県消費者センター)
- 人権・同和教育講演会
 - 講師:三浦成人氏
 - (「源氏蛭の会」代表)
- 島根県就職内定者合同研修事業
- 雲南就職内定者セミナー(2/15、16)

平成28年度 進路決定者数 2月17日現在 (人)

就職	進学									
	公務員	合計	大学		短大		専門学校		その他	合計
			国公立	私立	公立	私立	医療	他		
10	4	14	12	28	11	9	10	23	3	110

国公立大学一般入試の合格発表はこれからです。

お断り
今号の原稿締め切りを2月17日としたため、昨日の同窓会入会式等の記事は、あくまで予定の動きです。実際には内容に変更の可能性があったことをご了承下さい。

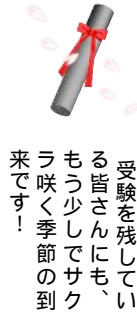
昨日は同窓会 雲南会 入会式も

25名が3箇年皆勤者表彰

卒業証書授与式

- 一、互礼
- 一、開式の辞
- 一、国歌斉唱
- 一、卒業証書授与
- 一、校長式辞
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介、祝詞
- 一、祝電披露
- 一、在校生代表送辞
- 一、卒業生代表答辞
- 一、校歌斉唱
- 一、閉式の辞
- 一、互礼

卒業生代表答辞と校長式辞は次号に掲載予定



受験を残している皆さんにも、もう少しでサクラ咲く季節の到来です!

生徒会記念品授与 皆勤者表彰も

また、同窓会入会式を前に、生徒会からも記念品(印鑑)が贈られたほか、左記の各種表彰が行われた。

贈る言葉に代えて

「雑感3」
3年学年主任 石橋 一美
(PTA会報より転載)

本校のキャリア教育におけるビッグイベントと言えは「地域産業研究実習(課題研究+職場体験)」と「研修旅行(課題研究)」ですが、この他にもいくつかの取り組みをしています。その一つに「ライフプラン作成」というのがあります。1年生の3学期に、「10年後に になっている自分」を想定し、そうなっているためには今からどんなことに取り組んでいくべきかを考え、レポートにまとめるものです。なりたいたいものがはっきりしている人はすんなりと書き始められますが、

第3学年担任

- 1組(25名) 周藤 友子(家庭)
- 2組(25名) 馬庭寿美代(地歴)
- 3組(30名) 油布 光将(数学)
- 4組(32名) 森脇 崇(理科)
- 5組(29名) 石橋 一美(数学)

3年担任の贈る言葉が生徒会誌「雲南」に掲載してあります。

そうでない人は、かなり苦労して、絞り出すように書いていたものでした。実際に「ライフプラン」を作成するとき、「進路をきちんと考えよう!」というのもちろんありますが、それだけがねらいではないと考えています。「ライフプラン」を想定するための方法論は、もつと近い未来のためにでも使えるものです。例えば、一年後の、一ヶ月後の自分を想定し

て、そこにたどり着くのにどうするかを考える習慣をつければ、その取り組み自体が「計画を立てて実行する」とことにつながるわけです。その積み重ねの上に3年後、10年後があるといえます。
また、この方法論は、「自分個人が将来どうするか」のためだけではなく、なにがしかのプロジェクトにおいても役立つと考えます。例えば将来属するであろう上級学校での研究や、自分が関係する部署でのプレゼンテーションなど、さまざまな現場で、「未来を想定してどう取り組むか」を考えていくことは多々生じます。そのときに、「そういえば高校の時こんなことをやったな」程度の記憶でも、あるとないとでは大きな違いです。本校で行うキャリア教育というのは、高校卒業後、社会でいろいろなることを考え表現していくための方法を学ぶ授業だと考えています。
3年間学年主任としてこの会報に寄稿しましたが、結局一番印象に残ったのは三刀屋高校でのキャリア教育です。普通に取り組めば、社会で役立つ内容がたくさんあります。卒業した後に「産社ファイル」や「総学ファイル」が役に立つたと思ってくれたら幸いです。

胸に刻む18年

保護者の皆様にとって
は子育ての18年間。
一つの区切りとして、
お子様のご卒業おめでとう
ございます。



平成26年4月9日(水)入学式当日の初々しい姿

あの日から3年

	三高での3ヶ年(2014.4.9~2017.3.2)	担任
平成26年度 (2014年度)	校長：恩田佳雄 教頭：新宮成浩 入学式・対面式 フレッシュマンセミナー 第52回島根県高校総体男女総合Aグループ20位 三高祭「Golden memories 愉快活発 ~ 胸にきざめ 90年目の轍 ~ 創立90周年記念式典(10月4日) 事業所インターンシップ アカデミックインターンシップ (初の広大訪問)	主任 石橋 1組 油布 2組 日比野 3組 周藤友 4組 森脇聡 5組 石橋
平成27年度 (2015年度)	校長：恩田佳雄 教頭：新宮成浩 遠足：蒜山高原センター 第53回島根県高校総体男女総合Aグループ24位 三高祭「Our story now begins」 ~ 駆け抜ける！主人公は君だ ~ 東京研修3泊4日 アカデミックインターンシップ (各大学訪問) 後期生徒会長：景山美鈴 アカデミックインターンシップ (島大訪問)	主任 石橋 1組 今田 2組 油布 3組 周藤友 4組 森脇崇 5組 石橋
平成28年度 (2016年度)	校長：恩田佳雄 教頭：高橋尚彦 前期生徒会長：小林昂貴 遠足：広島平和公園 第54回島根県高校総体男女総合Aグループ21位 全国高校総体ボート競技(7/28~8/1) 三高祭「輝(ひかれ)」 ~ それぞれの勝利を掴むために ~ 総合学科全国大会(10/27~28) 昨日、同窓会入会式 本日、卒業証書授与式	主任 石橋 1組 周藤友 2組 馬庭 3組 油布 4組 森脇崇 5組 石橋

【1998(平成10)年度】

誕生の頃

- 通年 NHK大河ドラマ『徳川慶喜』
 携帯電話の急速な普及により、ポケベル利用者数は全盛期の2年前に比して50%以上減少
- 流行 映画「タイタニック」「夜空ノムコウ」
- 5月 X JAPANのギタリストhideが永眠
- 6月 サッカーW杯仏大会に日本が初出場
 大相撲・貴乃花と若乃花、史上初の兄弟横綱が誕生
- 7月 和歌山毒物カレー事件 橋本内閣から小淵内閣へ寝台特急サンライズ出雲・瀬戸が運行開始
- 8月 Windows 98 日本語版発売開始
 松坂大輔夏の甲子園決勝戦でノーヒットノーラン
 北朝鮮がテポドン発射、三陸沖に着弾
- 10月 横浜ベイスターズ日本シリーズ38年ぶり優勝
 金大中韓国大統領が来日、日韓共同宣言を採択
- 12月 特定非営利活動促進法(NPO法)施行
 レコード大賞はglobeの「Wanna Be A Dreammaker」
 同 新人賞はモーニング娘
- 1月 電子決済用通貨としてユーロ導入
 (現金ユーロは3年後)

- 平成17年度 小学校入学 郵政民営化法案可決
- 18年度 2年 教育基本法改正
- 19年度 3年 石見銀山遺跡の世界遺産登録
- 20年度 4年 加茂岩倉遺跡の銅鐸国宝に
 米国リーマン・ブラザーズ 破綻 北京五輪
- 21年度 5年 新型インフルエンザ 流行
- 22年度 6年 高校無償化法 東日本大震災
- 23年度 中学校入学 FIFA女子サッカーワールドカップ 日本初優勝
- 24年度 2年 スカイツリー開業 ロンドン五輪
 三刀屋高校がキャリア教育優良学校として「文部科学大臣表彰」
- 25年度 3年 2020年夏季五輪の開催地に東京決定

日本ハムの大谷選手に学んだわけではありませんが
 一股ではなく充実の二刀流・三刀流！

総合学科11期生には、生徒会活動や課外活動で二刀流、三刀流？のアクティブな活動で輝く生徒が数多くいました。

インターハイ(少林寺拳法)と全国高等学校総合文化祭(美術・工芸部門)の両全国大会に出場したのが門脇有紀菜さんでしたが、このような例はかつて聞いたことがなく、新聞でも紹介される快挙でした。

美術部に所属して漫画甲子園にも出場した高野寛子さんは華道部でも活躍したほか、親子で市民

総合学科の鉄人こと上田千浩さんは美術・茶道・華道の3部を兼部し、それぞれで熱心な活動をみせてくれました。

吹奏楽部の妹尾有真さんは書道部員でもあり、2年次の全国高等学校総合文化祭に参加しました。

このほか、よさこいチーム「輪音天咲(りんねてんしょう)」で活動するのも、本校では3年生が中心でした。そのアクティブな姿が、下級生の範となったことでしょう。

しまね学生登録は、島根県内の就職をサポートします！



<http://advance.teiju.or.jp>

上級学校に進学する皆さんに、「しまね学生登録」をお願いします

ソフトボール

健闘を祈ります!



全国選抜大会

女子 8年連続14回目

3月18日(土)~21日(火)兵庫県加古川市
初戦は19日 対【埼玉栄と山形学院の勝者】

顧問 長岡 将司(監督)	定本あゆみ(1年)
中曾 拓人	難波 紫(2年)
出場選手 深田 紗生(1年)	塚本 有香(2年)
深田 彩華(1年)	妹尾はたる(2年)
	野津 日和(2年)
	山本 早季(2年)

女子ソフトボール部は、10月末の島根県高校新人戦では4試合中、決勝戦を含む3試合を5回コールドで圧勝し、8年連続14回目の全国選抜大会出場を決めた。

近年の全国大会では、常に全国優勝経験のある強豪校との対戦が続いたが、昨年夏のインターハイでは久しぶりに全国一勝をあげており、その勢いも大切に、まずは初戦突破を狙う。

男子 2年連続16回目

3月18日(土)~22日(火)福岡県北九州市
初戦は18日 対自由ヶ丘(福岡)

顧問 駿馬 敦史(監督)	落合 雄大(2年)
高尾 祥平	陶山 凌雅(2年)
出場選手 奥井 祐介(1年)	永瀬 開斗(2年)
山根 遥己(1年)	飯塚 成希(2年)
板垣 俊平(1年)	藤原 一樹(2年)
長谷川 丞(2年)	松村 涼大(2年)
	細木 悠作(2年)
	渡部 沙彩(2年)

男子ソフトボール部も、秋の島根県高校新人戦で安来高に5回コールド勝ちをおさめ、2年連続の全国選抜大会出場を決めた。

昨年の県高校総体を制しながらも、山口県の徳山高校との代表決定戦でインターハイ出場を逃した分、今大会では昨年のベスト16以上の成績をめざして頑張っている。

今大会の団体戦は、負けるか引き分けるまで同一選手が対戦相手をかえながら勝ち続けるルール。4名でのぞんだ本校は、大会準優勝の強豪相手に初戦突破はならなかった。

柔道
高校選手権島根県予選
(12/17、18、県立石見武道館)
【男子団体】
準々決勝
三刀屋x 平田
(5人残し)

サッカー
県高校新人大会
(2/4、出雲市)
三刀屋・大東合同
0 出雲商業

高体連が主催する体育館でのインドア大会は今大会のみ



女子 2年生ペア 菅田 中林 がベスト8

ソフトテニス

県高校インドア選手権 (12/24、鹿島総合体育館)

県インドア選手権(一般の部)

年末に松江市の鹿島総合体育館で行われた個人戦の標記大会で、菅田野衣さん・中林楓香さんの2年生ペアが2勝して殊勲のベストエイト入りを果たした。

体育館を会場とする今大会は、10月の県新人戦でベスト32入りしたペアが出場権を獲得し、本校からは若槻真依さん・土谷美蘭さんの1年生ペアも出場を果たした。競技人口の多いソフトテニスでインドア選手権への出場自体も数年ぶりの事だが、2ペアが出場したのは快挙と言える。

- 【女子個人】
1回戦
若槻・土谷0 浜田高ペア
菅田・中林 0 松江西高ペア
2回戦
菅田・中林 3 松江南高ペア
準々決勝
菅田・中林1 石見智翠館ペア
ベスト8
2月の島根県インドアテニス選手権大会への出場権獲得。

バスケットボール

男女ともに初戦突破 女子は選手5名で初戦大勝

女子は新チームになって常大会初戦を突破し、すでに公式戦3勝をあげるが、プレーヤーは何と5名しかない。今大会でも初戦は大勝したものの、同日に交代要員なしで

2試合目に臨むのは厳しかった。今春入学生の入部が待ち望まれる。
【男子】(出雲高校)
1回戦
三刀屋(89) 47 隠岐

島根県高校新人戦

1/13

バレーボール

島根県高校新人大会

(2/5、鹿島総合体育館)
上記大会のベスト8以上の高校生も参加した標記大会に菅田・中林ペアが出場。社会人の壁は厚く予選リーグ敗退とはなったが、良い経験となった。春の大会が楽しみだ。

(1/13、鹿島総合体育館)
2勝するもエイトならず
【女子】
Aブロックグループ
三刀屋 1 出雲農林
25 20

三刀屋 25 22
0 出雲商業
三刀屋 25 13 18
三刀屋 0 安来
11 7 25 25

放送

総文祭放送部門島根県大会

第2回中国高校放送コンテスト

アナウンス部門

(12/17、いわみーる)

(1/28、29、広島市青少年センター)

高見さんが中国大会10位



ステージでの発表風景

来年度の全国高等学校総合文化祭宮城大会につながる標記県大会のアナウンス部門に出場した高見ひのめさん(2年)が5位と健闘した。残念ながら夏の全国大会に駒を進めることはならなかったが、1月末には各県大会の上位10

名による中国大会に出場した。中国大会では、県大会の原稿(本紙113号8面に掲載)を若干変更して予選を通過し、決勝では今大会に出品された他校のビデオ番組等について取材した原稿を新たに書き上げ、アナウンス部門で10位の好成績をあげた。上位大会にはつながらないが、大きな自信となった。

パソコン同好会

周藤さん(2年)今年も予選通過

9位

決勝トーナメントは3月25日(土)くにびきメッセで

高校生(高専含む)までを対象とする上記プログラミング大会の予選には全国から14

9組がエントリーし、高専勢も多数出場する中で、本校パソコン同好会の周藤匠さん(2年)が予選を9位で通過し、昨年に続いて決勝大会出場権を獲得した。

3月25日(土)に松江市のくにびきメッセ国際会議場で行われる決勝大会には予選上位12組が出場し、トーナメントで優勝を目指す。

出品にあたってはプログラミング技術向上のために、昨年夏より出雲コアカレツジの坂根先生のご指導を受けたほか、主催関係機関による出前講座を受講させていただいた。周藤さんは昨年のベスト4以上の成績が残せるか期待される。



上は予選で使用されたマップ。決勝で使用するマップは当日まで非公開。

スモウルビーとは、島根県松江市を中心に活動する「Resonanceプログラミング少年団」によって開発されているオープンソースソフトウェアです。プログラミング経験の無い小中学生でも、簡単な操作で多くのプログラム作りを体験し、学習できるようにすることを目的として、日々開発が続けられています。スモウルビー甲子園は、15マス

×15マスのマップ上で2つのプレイヤーキャラクターがゴールを目指しながら得点を競い対戦します。プレイヤーキャラクターはあらかじめ条件分岐を記述したAIプログラムにより動きます。加点アイテムを取る、減点アイテムを取らない、減点アイテムを仕掛ける、高得点アイテムのみを狙う、早くゴールするなど様々な戦略が立てられます。

写真部×「縁結びパンツ」がとりもつ縁



雲南市が主催する次世代育成事業「幸雲南塾」6期生の福山順子さん(東京都在住)が商品化したのは、体を締め付けない女性用ふんどし型の「縁結びパンツ」。体に優しくしてお洒落なふんどしタイプのパンツで、

制作は縫製技術を持つ雲南のおばあちゃんに依頼された。元々地域のお

ばあちゃん達を笑顔にする狙いがあったとのこと。先月11日には、雲南市で最終報告会が開催された。企画実現にむけた資金集めの手段は、近年注目されるクラウドファンディング。目標の300%を達成し、その一部は購入者への礼状の印刷代にも使用された。礼状(上の写真)には、故郷の風景写真を掲載したいと考えていた福山さんは、昨年の本校文化祭でJRB木次線の特集した作品を目にし、依頼を受けた写真部が作品を提示することとなった。

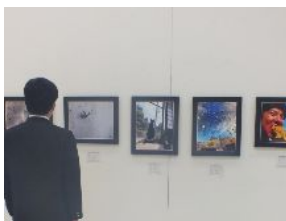
写真

第44回島根県高校写真展

2/8、14、県立美術館 春と秋の年2回の高文連写真コンクールで特選となった作品から約260点が出品された県高校写真展に、本校からは、2年生の6点を出品。2年連続の全国大会出品推薦(1、2年生の5点)獲得は

ならなかったが、これにつぐ奨励賞に、松崎愛己さん(1年)のデジタルカラー作品「木漏れ日」(春季コンクール特選作品)も選出された。12月の西部会場展(益田市)に続く2月の県立美術館での東部会場展には大雪にもかか

〜ご来場ありがとうございました〜



三高生の作品に見入る来場者

箏曲

新春恒例の合同演奏会

第15回島根県高文連日本音楽部門成果発表会

2月5日の日曜日、JRB出雲市駅前のビッグハート出雲を会場に、県内5校(松江北・松江南・開星・松徳学院・三刀屋)で活動する箏曲仲間が一堂に会して合同演奏会を開いた。本校箏曲部は「涙そうそう」(BEGIN作曲)、映画

「千と千尋の神隠し」のエンディング曲「いつも何度でも」(木村弓作曲)の2曲を披露した。また、各校の発表の後には箏グループ「櫻」と「カヌー」の皆さんによるゲスト演奏も行われた。



(2/5、ビッグハート出雲白のホール)

「課題研究」学年発表会

2年 クラス代表16名が パワーポイントで堂々の発表

12/6



12月6日の午後2時間、総合学科棟大講義室において2年生の課題研究学年発表を行った。今回発表したのは、クラス発表で選ばれた4名ずつ計16名の生徒で、10月の東京研修3日目に行った班別自主研修の訪問先で深めた研究の成果を含めて発表した。16本の研究主題は以下の通り。

- 1 日本の文化が海外に広まることで、経済的効果はあるのか/井谷ななみ
- 2 「孤食」が現代の子どもにも悪影響をあたえているのか/田部沙織
- 3 ピーターパンシンドロームは防げるか?/飯塚もも
- 4 一村一品運動で商店街は活性化できるのか/小澤星斗
- 5 特定保健用食品は必要か/川西詩乃
- 6 品種改良の利点、危険/難波紫
- 7 地域を有名にするには/奥井ゆり
- 8 キャリア教育は若者の自立に役立っているのか/勝部佑一
- 9 国は「小1プロブレム」について関心を持って解決しようとするのか/島奈瑠美
- 10 グローバル社会で求められる人材/藤原楓
- 11 尊厳死や安楽死は家族の判断で決まるのか/菅田野衣
- 12 M R I 検査時の不安解消はできるか/新田翔也
- 13 マイナンバー制度は日本以外の国でも使われるようになるのか/藤原一樹
- 14 私たちはさとり世代なのか/別所玲奈
- 15 島根県の学力と他県の違い/島根県には欲がない/長妻諒
- 16 やる気スイッチは本当にあるのか/渡部沙彩

発表会が続きます

保護者の皆様もご参観ください

特別発表会

4校合同の総合学科発表会は大雪中に中止に!



総合学科を置く島根県内4高校(三刀屋・松江農林・邇摩・益田翔陽)の代表生



徒による合同発表会が2月10日(金)に本校で予定されていたが、前夜からの大雪のため中止となった。このため当日は、本校大講義室で1年生を対象に特別発表会を開催することになった。発表者は、霧亀朱音さん(1年)、「地域の高齢者による小学生のための交通指導」、新田翔也さん(2年)、「MRI検査時の不安解消はできるか」、10月の地域産業研究実習(事業所インターンシップ) 覧ください。

次回は 3月14日(火)

2年「課題研究」発表会
体育館でのポスターセッション



写真は昨年の2年ポスターセッションのようす

上掲記事の通り、2年生は「課題研究」の成果を2学期末にパワーポイントで発表したが、内容に修正を加えた上で、3学期には模造紙1枚のポスターにまとめて発表会を行う。今年で3回目。今月14日(火)の5限、6限に、各クラス代表計39名が作成したポスターを体育館のパネルに掲示し、1・2年生全員が興味あるテーマのポスターの前で発表者の説明を聞くこととしている。分野が分散するように3つのグループに分け、各班は「発表5分、質疑応答3分、移動1分の計9分」を3回繰り返す予定だ。2年次課題研究の総仕上げに期待したい。

1年

「ライフプラン」作成 10年後の自分を描きました

2学期に地域産業研究の発表会を終えた1年生は、3学期前半にかけて10年後の目標とする自分の姿を描く「ライフプラン」を作成した。発表会は持たないが、クラスごとに全員のプランを冊子にまとめ、互いの夢に刺激を受ける機会となった。紙面を通じてではあるが、互いの夢を全員が具体的に語り合う、そんな場面は普通科時代の三高にはなかったことだろう。現在では地域産業研究を終えた1年次3学期のプログラムとして定着している。

司会者	飯塚成希 高島玲七
マイク係	石飛公基 佐々木サリナ



三高新時代への胎動

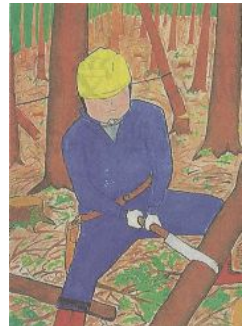
地域とともに

第28回

雲南の中高生も注目! 森林資源

シリーズ

Q. 雲南市の「市の木」は「サクラ」である。か×か?
 正解は×です。合点のいかない方は、雲南市立吉田中学校HPの12月5日付新着情報をぜひご覧ください。



農林水産大臣賞 伊藤隆博さん (雲南市立吉田中学校3年)

国土緑化運動・育樹運動がスター原画

雲南市平成27年低炭素熟配布資料より

雲南市の面積は東京23区の約9割! 553.4km²
 しかも78%が山林 (全国平均67%)

錦織良成監督の映画作品「たたら侍」の全国一般公開(5月)が近づいてきた。作品の背景には、雲南圏域の豊かな森林資源も描かれる。そこは斐伊川水系の清流の水源であり、鉄と雇用を生んだ宝の山であり、たたら製鉄のために必要な大量の木材を供給した森林だった。大正時代にたたら製鉄の灯が消え、安価な外国産材木の流入によって日本の林業は長く低迷を続けてきたが、全国的に林業での新たなチャレンジが脚光を浴びている。人材育成も急務で、5年前までは全国に5校しかなかった公立の林業大学校が現在は14校。来年度には岩手、兵庫、和歌山の各



「グリーンパワーうんなん」での事業所インターンシップには1年生2名が参加(昨年10月)。

斐伊川今昔物語 最終回
 見直される森林資源

雲南でも開校の予定だ(大田市の島根県立農林大学校には、以前から林業科があります)。雲南市では10年近く前からバイオ事業の検討を開始し、平成24年には民間7事業所が出資して合同会社グリーンパワーうんなんを設立。それぞれの得意分野の技術を提供し、市民参加型の収集運搬システムを取り入れ、市内全域で木材をトキキーに変える事業をスタートさせた。

このような取り組みは、高齢化や人口減を背景に荒廃がすすむ里山の環境保全にもつながるが、何十年と先を見越した山作りのためには、若い人材育成が不可欠だ。昨年10月の1年生の地域産業研究実習(事業所

右の作品は、2017年用標記ボスター原画コンクールで中学の部最優秀賞を獲得した雲南市立吉田中学校の伊藤さんの作品です。同中学校の裏手には学校林があり、全校生徒による間伐体験学習を行い、森林が環境に与える影響や間伐を行うことの意義も学んでいるそうです。

UCC AWARD 2016

地域課題の解決にチャレンジする大学生の「雲南コミュニケーションキャンパス(UCC)」プロジェクト2016成果発表表が12月10日(土)、市内外からおよそ70名が参加して雲南市役所で開催された(「市報うんなん」2月号参照)。大学生の1年間の取り組みを発表する場で、夏のフィールドワークに参加した東京大学大学院生による「特別ゲストプレゼン」

UCCとは、雲南市では、大学機関や地域、市内で活動するNPOと連携し、大学生の学びのフィールドとなる「雲南コミュニケーションキャンパス(UCC)」を昨年6月より開校し、全国の学生57人がスタートアップ合宿や専門コースに参加し、地域の課題解決の活動にチャレンジしました。

大門さん(1年)がゲスト発表
 大学生の「UCC」発表会で絶賛
 「森を遊び場に」竹の利用法」

のほか、地元の高校生を代表して本校の大門誠弥さん(1年、写真左)もプレゼンを行った。大門さんは1年次の授業「産業界と人間」での「地域産業研究」の成果を、「森を遊び場に」竹の利用法」と題して発表。昨年10月の正蔵坊(三刀屋町中野の寺院)での3日間の事業所インターンシップを通じて、「竹は加工しやすく弾力もあり、豊富にある竹でたくさん遊具を作り、そこで遊ぶことができる」と実感した。木の上での竹製のツリーハウス作りにも挑戦し(写真右)、「遊び場を作ることによってイベント会場にもなる」と提案した。



演劇部のキャストの一人として同部の県大会最優秀賞、中国大会出場にも貢献した大門さんは、大門未知子のように「私、失敗しないもん」とは言わないけれど、夢中になる世界で自信を持ってアクティブに活動しています。

竹は根を広げて増殖率が高く、各地で竹山が広がって邪魔者扱いされている。正蔵坊ではそんな竹を使った遊具作りのほかに、竹紙のフランクシールド等も作っている。そんな取り組みを体験した大門さんは、「木や竹だけで劇場や民宿を作り、少しでも多くの人に地元を知ってもらいたい!」と夢を膨らませている。

ご来場を
お待ちしております

3月20日(月)春分の日
開場 13:30 開演 14:00
入場料 中学生以上
前売り 500円
当日 600円



防災教育

2/14、LHRで

「自然災害から身を守るために」
昨年が続いて、3学期の防災教育講演会には松江気象台から講師をお招きし、1年生は「大雨」から、2年生は「地震」から身を守るために注意すべき点をお話しいただいた。

避けられない自然災害が多発する日本だが、その災害が環境と直結していることを認識し、「減災」のために日頃から意識しておきたい心構えを確認する時間となった。

ゲスト

(第1部)インディペンデントステージ
(第2部)ゲストステージ
(第3部)コラボステージ

AZZ

SO BEAUTIFUL SANKOU SOUND

三刀屋高校吹奏楽部

第26回 定期演奏会

HITOYA HIGH SCHOOL WIND ENSEMBLE

2017
3/20 Open 13:30 Start 14:00
3月・祝

東南市文化ホール
ラメール
中学生以上 500円(前売500円)

2月22日は「竹島の日」

～「竹島問題」について学び・考えよう～(ワークシート)

【1】はじめに
日本と中国は約4000kmの距離がある。

竹島に関する歴史を調べよう

竹島はどのような経緯で日本の領土に認められたのか。加えて、島にどのような領土主権が認められているのか。日本人が島の領土主権を主張する理由を調べよう。1966年以降、竹島に関する両国の領土主権をめぐって争いが続いている。約30年経ち、日本と中国の領土主権をめぐって争いが続いている。竹島が領土主権をめぐって争われている理由を調べよう。

島嶼、島嶼とはこの島嶼(竹島)をめぐって争われている。日本人は領土主権を主張する理由を調べよう。1966年以降、竹島に関する両国の領土主権をめぐって争いが続いている。約30年経ち、日本と中国の領土主権をめぐって争いが続いている。竹島が領土主権をめぐって争われている理由を調べよう。

島嶼、島嶼とはこの島嶼(竹島)をめぐって争われている。日本人は領土主権を主張する理由を調べよう。1966年以降、竹島に関する両国の領土主権をめぐって争いが続いている。約30年経ち、日本と中国の領土主権をめぐって争いが続いている。竹島が領土主権をめぐって争われている理由を調べよう。

いわゆる「竹島問題」については地歴・公民科の授業を

中心に学習する場面がありませんが、2月22日の「竹島の日」

を前に、全クラスがLHRで「竹島問題」の解決に向けた学習をしました(3年生は出

校日に実施)。上は、その際に使用したワークシートです。

雲南4校から過去最多の174名が参加

「フォロアアップ講座」も開かれ、他校の先生からの特別授業を受ける姿も多く見られた。

今年も「おろち模試」実施

雲南地区高校1、2年生で難関大学をめざす生徒の進路意識を早期に喚起高揚させることを目的として、「おろち模試」と名付けた英数国3教科の合同模試(各100分)を本校大講義室で実施した。5年以上前から続く試みで、今年も本校からは1、2年生81名が参加した。また、試験後には1教科を選択しての



静寂の中に熱気が伝わる模試会場

秋の雲南各地での校外イベント出演が続いた後、冬場の吹奏楽部はパート練習を中心に、演奏技術の向上を目指して切磋琢磨している。

春を呼ぶ定演

吹奏楽部

クラリネット三重奏 銀賞
演奏曲/「ウェントス」(石毛里佳 作曲)
クラリネット四重奏 銀賞
演奏曲/「レ・ジャルダン」クラリネット四重奏のための(真島俊夫 作曲)

2学期末の12月19日(月)の放課後には、図書委員会主催のクリスマス会が開かれ、
第40回全日本アンサンブルコンテスト島根県大会(12/24、出雲市民会館)3年生引退後の初めての大きな大会は、少人数での演奏でかなりの緊張感があったようだが無事に終了。出場したクラリネット三重奏、同四重奏ともに銀賞を獲得した。

図書館クリスマス会

クイズを交えてスクリーンに映し出した絵本の読み語りや、吹奏楽部のミニコンサートを楽しんだ。

雲南バンドミーティング

フィナーレは中高生140名で合同演奏
1月15日(日)には加茂文化ホールラメールを会場に、中高生の合同演奏会「雲南バンドミーティング」



が開かれた。4部構成の途中では、三刀屋高・三刀屋中・掛合中の三校合同で3曲を披露したほか、フィナーレでは参加中高生全員約140名の大編成で「Brazil」(作曲/アリ・バロージ)を演奏した。

磯部氏の<公開>楽器指導クリニック



1月28日、日本を代表するクラリネット奏者の磯部周平氏(東邦音楽大特任教授)による楽器指導クリニックが加茂町のラメールであり、本校を含む雲南地区の中高吹奏楽部員が、演奏技術の上達に向け実践的な練習方法を学んだ。

つながる雲南!

児童とのコラボステージ(コライージュ)



2 三高ダンス同好会が 児童ダンスチームと共演

2016年末拾遺物語



年末に積み残した話題を拾いました

雲南市立西小学校の 学習会に三高生7名が参加

1

チャレンジ・イン・ウィンター



12/26

頼れるお姉さん/お兄さん

12/4

10回目を迎えた社会福祉チャリティー雲南市民歳末余芸大会が12月4日、三刀屋文化体育館アスナルで開催され、個人・団体の14組が出演し、1,300人の観客を楽しませた。このうち、お馴染みの市内よさこいチーム「輪音天咲(りんねてんしやう)」には三高生5名が加わったほか、ダンス同好会のメンバー5名がステージ発表し、アスナルの「ヒップホップダンス教室」で活動する児童9名とコラボして会場を盛り上げた(写真)。

J R西日本米子支社



生徒を代表して前生徒会長の小林さんが木次鉄道部長様より受領(12/19)。

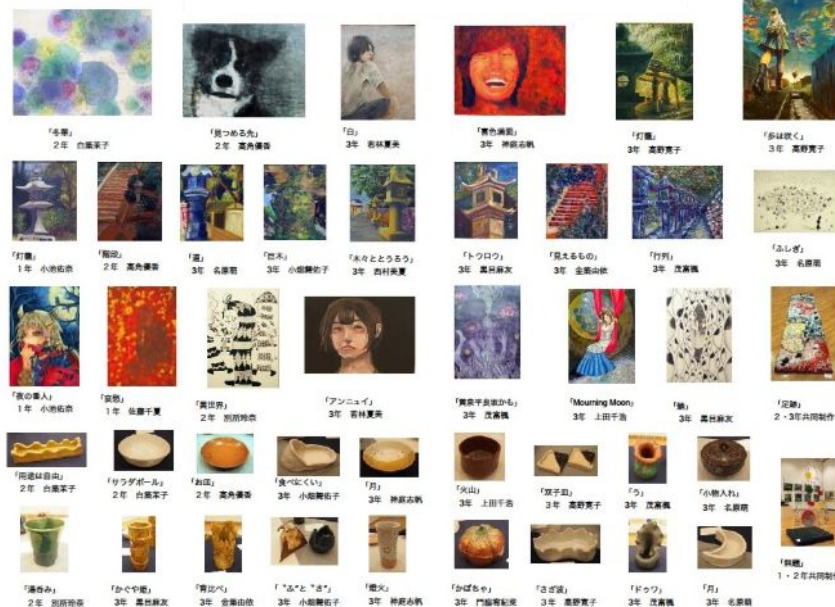


3 受験のお守りに「すべらない砂」今季も木次鉄道部からプレゼント

上は、学問の神様として知られる菅原道真を祀る三刀屋天満宮の祈禱を受けた「すべらない砂」が入ったお守り。昨年度に続いてJR西日本木次鉄道部から本校の受験生におくられた。今年も、奥出雲町の雲州そばんの玉も同封された。玉をはじく音のように「合格パチパチ」と拍手を打って、受験を残している皆さんも、試験当日は緊張することなく平常心でのごんでもらいたい。

冬休みに入った師走の26日、雲南市立西小学校(大東町仁和寺)の児童学習会に、本校生が学習支援役で参加した。 「チャレンジ・イン・ウィンター」と名付けられた同小年末恒例の学習会が春殖交流センターと幡屋交流センターの2会場に分かれて行われ、このうち幡屋会場には本校生徒7名が参加し、約30名の児童を相手に冬休み課題の添削のほか、質問に答えたりヒントを出したりと、良きお姉さん・お兄さんぶり(良き先生役)を發揮していた。 自分自身の優しさに気づき、子どもをかわいがる自分を再発見できるような機会に、今後本校生の積極的な参加を期待したい。

本校美術部の出品全作品。三高HP 12月22日付新着情報の画像をクリックすると、もう少し大きく見ることができます。



5

美術

第9回島根県高校美術展

(12月9日~12日、島根県立石見美術館)

4

ESS

第10回中国地区高等学校英語スピーチコンテスト

(11月26日、広島市安芸区民文化センター)

白名さん(2年) 中国大会で堂々の発表

11/26

標記コンテストに、ESS部の白名真子さん(2年)が出場し、全国大会出場権獲得はならなかったものの、高いレベルな舞台で堂々の発表を行った。 コンテストには中国5県代表計10名が参加し、白名さんは9月の島根県予選を2位通過して出場を果たした。(当日のスピーチ原稿は、9月発行の本紙111号参照)

日	曜	学校行事等	部活等
1	水	卒業式準備、壮行式、同窓会入会式	
2	木	卒業式	
3	金		
4	土	土曜補習最終回	
5	日		
6	月		
7	火	高校入試	
8	水	特別休業日 公立大中期日程試験	
9	木	1・2年スタディサポート	
10	金	1年教室ワックスがけ	
11	土		陸上
12	日	国公立大後期日程試験	
13	月	1・2年医療・福祉系が'イッパ(希望者、放課後)	
14	火	2年課題研究発表会 高校入試合格発表 第2回PTA進路指導委員会(年間行事予定の15日から変更)	
15	水		男子ソフトボール
16	木	2年進研M模試 6限授業	
17	金	2年進研M模試 S.C	女子ソフトボール
18	土		
19	日		
20	月	春分の日	
21	火	教科書販売	
22	水		
23	木		
24	金	合格体験を語る会 キャリア教育に関する意識 調査、終業式 閉寮	
25	土		
26	日		
27	月	入学前説明会	
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		



陰日向でアクティブに活動する三高生

「チャレンジを実現する雲南」の普通の高校生が快挙!

1 全国高校生 MY PROJECT AWARD

速報!!

次号で詳細

1年 小村 優希さん
2年 小田 千尋さん

関西地区予選(2/12)を突破して
全国サミット出場権獲得!!!



「MY PROJECT AWARD」では、地域やコミュニティなど身の回りの課題に対して自ら考え行動した高校生が、自分のプロジェクトを発表する。2月12日の大阪府での関西大会には53組がエントリーし、小村優希さん(1年)と小田千尋さん(2年)の二人は、三刀屋地区まちづくり協議会等の協力で企画実現した地域の世代間交流をすすめる取り組みを発表(写真)して上位7組に入り、3月24日~26日の東京での全国大会への出場が決まった。おめでとう!

三刀屋世代間交流施設「ほほ笑み」での実際の活動の様子を、三高ホームページ2月15日付新着情報でぜひご覧ください。

ガンバレ!でも十分に頑張っています、応援してやって下さい!

2

1年ボランティア



卒業式を前に、1年生全クラスがLHRの時間を利用して、昇降口や三刀屋バスセンター周辺の清掃活動を行いました。

3

生徒保健委員会研修会

(2/9、会議室)



「ストレスについて一緒に考えてみましょう」
2月9日の放課後、「ストレスについて一緒に考えてみましょう」と題して生徒研修会を開催しました。スクールカウンセラーの荒川ゆかり先生から具体的なリラクゼーション法を紹介して頂き、生徒はストレスとの上手な付き合い方を学ぶことができたようです。

生徒の感想
音楽を聴いたりしてストレス発散をしているつもりだったが、勉強する時に眠たくなったりしていたので、今日習ったリラクゼーション法を活かして部活動や勉強に集中して取り組めるようにしたいです。

4

くちビルディング選手権

(三刀屋総合センター)



競技の方法等、詳しくは三高HPの12月12日付新着情報からご覧ください。

口の筋肉を鍛えて競う笑える予防医療系の新感覚スポーツイベント「くちビルディング選手権」が全国四か所ですター。雲南市ではお馴染みの訪問看護ステーションコミケアが中心となって、11月の

初回には本校生9名が参加。2回目の12月3日にも4名が参加し、5つのチームに分かれて競技を行い合計得点を競いました。会場は抱腹絶倒、世代間を超えて笑顔にあふれました。

5

生徒会あいさつ運動



執行部役員が交代で立ちました

さんこう
三高92年物語
 第31回 「GO for it!」
 最終回

問.下の写真の「ガッショで」に続く言葉は何?



昭和53年夏の甲子園大会での三刀屋応援団



雲館「蒼雲館」に展示してあることを初めて知り、感激された様子でした。

今回の原稿を書き終えた後の先月14日、昭和53年夏の甲子園にエースとして出場した吉川さん(大阪府在住)がたまたま来校。サヨナラ・スクイズで県大会優勝を決めたウイニングボールが「蒼雲館」に展示してあることを初めて知り、感激された様子でした。



恩田校長は三高在学中の昭和

OBの恩田佳雄校長が本校に着任したのが3年前の春。校長として初めて入学生を迎えたのが、本日卒業する総合学科11期生だった。以来、「GO for it」と校長の生歌の応援歌が三高生を鼓舞するシンボルとなつた。

紙面刷新のため、シリーズ「三高92年物語」と隔月の「斐伊川今昔物語」・木次線今昔物語」は終了させて頂いたさせていただきます。ご愛読ありがとうございました。

49年に創立50周年記念式典に生徒として立会い、その40年後の平成26年10月の創立90周年記念式典は校長として迎えた。母校に校長として赴任することは名誉であると同時に、周囲からは見えにくい重圧も大きかった。前年の岩井元康校長時代の平成25年2月に、本校は「キャリア教育優良学校」文部科学大臣表彰の栄に輝き、母校のより一層の発展を期待されるが故、学校経営の中心たる自身をも鼓舞するための「GO for it」であり応援歌だったのでないだろうか。

独りよがりの紙面構成でした。今後は必要な情報を精選することが必要かと考えます。他校の例も参考にしながら「チェンジ」します。(K)

情報を提供すること示すものと思いません。情報量は他校と比べても決して少なくないと思っております。生徒の活動紹介とは関係のないシリーズもあり、独りよがりの紙面構成でした。今後は必要な情報を精選することが必要かと考えます。他校の例も参考にしながら「チェンジ」します。(K)

10年前の木次の「がっしょ祭り」をPRする雲南市商工会青年部のブログに目が

とまった。神つてる編集長は見逃さなかった。これだ！

「GO for it」の思いを代弁するかのようそのブログの一部を抜粋して上の枠内に紹介する。

新入生や新任教員からは、体育館のステージ上に掲げられる幕の「GO for it」とは何という意味ですか?と質問される。一言で表現すれば、上のブログにもあるように「ぎばめ!」「ガンバレ!」という意味だ。



1 日本学生支援機構
 奨学金受給予定の皆さん(予約奨学生)へ

上級学校進学後に日本学生支援機構の奨学金を受給する予定の皆さん(予約奨学生)は、入学後の4月に「進学届」をインターネットで提出することを忘れないで下さい。詳細は2学期に配布した「大学等奨学生採用候補者の皆さんへ」で確認して下さい(自己責任です)。

なお、結果的に進学しない場合には、特別な手続きはありません。自動的に予約が取り消されます。

2 年度末(卒業時)配布物

- 主な配布物
- ・生徒会誌「雲南」
 - ・「図書館報」
 - ・「PTA会報」
 - ・「卒業アルバム」(3年生のみ)
 - ・「教育しまね」(島根県教委)
 - ・「ye11 2017」(山陰中央新報社、2・3年生配布)
- 進路だより、保健だより、図書館だより等各種広報紙もあります。保護者の皆様はお子様を通じてお受け取りいただきご覧ください。一部はホームページにも掲載します。



HPアクセス数記録更新
 1月は3万6千回

本紙前号の発行が12月3日、1月下旬には次号発行を予定していましたが、諸般の事情で断念しました。今号は11月末からの3箇月分の出来事を掲載したため、一つひとつの記事が簡略すぎた感もありますが、ご容赦願います。

学校だよりの発行が滞ったこともあったこととあつ

てか、三高ホームページへのアクセスは過去最高を記録しました。10月に初めて3万回を超えましたが、1月にはこれを更新して3万6千回を記録しました。昨年度に比してホームページ 新着情報 の更新頻度も高めております。次年度以降も速報性の高いHPの更新を一層充実させたいと思っておりますが、その分、学校だより「蒼雲」は予算の都合もあつて若干ページ数を縮減し、紙面もコンパクトにさせていただきます。ご承知願います。



保護者の皆様からの学校評価で、学校だよりやホームページなどをとおして、学校の様子がよくわかりますか?という質問項目に対しては、これまでになく厳しい評価をいただきました。3学年共通の全質問項目の中で、下から6番目の低い平均評価値「3.08」を重く受け止めております。HPの更新が格段に進みながらも今回の低評価は、本紙に求められる情報と、本紙が提供する情報のミスマッチが大きいことを示すものと思いません。情報量は他校と比べても決して少なくないと思っております。生徒の活動紹介とは関係のないシリーズもあり、独りよがりの紙面構成でした。今後は必要な情報を精選することが必要かと考えます。他校の例も参考にしながら「チェンジ」します。(K)



いつでも帰って来い来い きみの故郷へ
 いつかは帰って来い来い きみの故郷へ
 折り重なってこそその美しさをみせる山なみは
 人々の力が重なり合ってつながる
 ふるさと雲南の原風景です

今年もこの季節に、鎮魂の日3.11を迎える。いつになったら帰ることができるのかわからない人たちがいる。帰る場所を失くした人たちがいる。..... 私たちには、いつでも帰ることのできる仲間のいる故郷がある。みんなの故郷が、いつまでも、そうあって欲しいと願う。

雲南市三刀屋町給下の峯寺遊山荘より朝日を浴びる三刀屋高校を遠望

グローバル(グローバル&ローカル)世界に挑む三高生!
 卒業後は... 大志を抱いて全国へ、そして世界へ羽ばたくもよし!
 けれど... 青春時代を育んだ雲南への熱い思いを忘れないで!!

道を拓く三高総合学科の深い言葉

皆さんが想像する以上に、
 地域は皆さんに期待しています

覚えていますか、この言葉。平成26年12月10日、入学以来半年間の「地域産業研究」の成果を発表した学年発表会で、講評に合わせて石橋学年主任が当時の1年生に贈った言葉です。忘れないでください。

そして、地元に残って社会人生活をスタートさせる皆さん
 一緒に頑張りましょう。Go for it in SHIMANE!

いよいよ旅立ちの時を迎えました
 「高校生活を振り返って」

卒業生代表 景山 美鈴

私にとって三刀屋高校で、沢山のことを学ぶことができた。入学後しばらくは慣れないことが多く、まわりとは違い、ある意味全く予想外な3年間でした。入学前の私は、高校生活に対して期待や不安、憧れという気持ちはありましたが、どこかで、ただ平凡に過ぎていくだけなのだろうなと思っていました。しかし、3年間で様々な経験を

合を占めたものは、生徒会長を務めさせていただいたことです。正直、はじめの頃は自分に自信がなく、本当に私で良かったのかと思うことが何度もありました。もともと私は優柔不断な性格だったので、自分の発言にいつも「たぶん」という言葉がついていました。そのせいで、おそらく生徒会の皆様にも迷惑をかけたと思います。しかし、生徒会執行部の皆は作業が遅い時間になったり、急にお願いをしても、一緒に一生懸命頑張ってくれました。本当に「ありがとう」と感謝を伝えたいです。

いかと思います。高校生活最後の年である3年生になると、将来に向けて様々なことが現実化していききました。また、色々な場面で言葉のはじめに「最後の」がつき、徐々に卒業が近づいていると実感するようになりしました。高校3年間で学んだことは、人に思いを伝えることの難しさだったり、自分から挑戦することの大切さだったり、本当に沢山あります。こんなに沢山のことを学ぶことができたのは、今まで色々な人に支えていただいたからだと実感しています。まだまだ未熟な私達ですが、今まで色々な人に支えていただいたように、いつか私達が誰かを支えるようになりたいです。

生徒会長になった頃は、所属する演劇部の大会の時期でもありました。その年の夏に3年生が引退して自分たちの代となり、まもなく大会を迎える大変な時期にもかかわらず、私は生徒会の活動で練習に遅れることが多くなり、迷惑をかけたばかりだったと思います。しかし、遅れた部分を丁寧に教えてくれたり、フォローしてくれたり、部活の皆に対して感謝の気持ちでいっぱいです。私はこの1年間でこれまでになく、人の思いやりをとんでも感じる事ができました。色々な人と接することで、自分の中でも少し自信がつき、成長できた年だったので、



演劇部3年生にとっては引退公演ともなる7月の自主公演では、フィナーレで下級生が先輩の労をねぎらい花束を贈呈。感動的な、思い出に残る場面でした。